



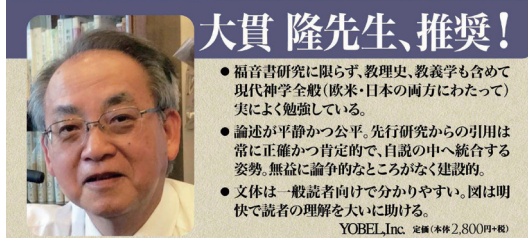
鈴木道也 [著] (日本基督教団 花巻教会牧師)

違いがありつつ、ひとつ

試論「十全のイエス・キリスト」へ

キリスト教書店大賞ノミネート中
説教での紹介、推奨、書評多数

6/20 重版出来！ 2024 年 11 月 20 日刊行



大貫 隆先生、推奨！

- 福音書研究に限らず、教理史、教義学も含めて現代神学全般(欧米・日本の両方にわたって)実によく勉強している。
- 論述が平穏かつ公平。先行研究からの引用は常に正確かつ肯定的で、自説の中へ統合する姿勢。無益に論争的なところがなく建設的。
- 文体は一般読者向けで分かりやすい。図は明快で読者の理解を大いに助ける。

YOBEL, Inc. 定価(本体2,800円+税)

A5 判・452 頁・3,080 円 (税込)
本体 2,800 円 + 税 ISBN978-4-911054-22-2 C0016

「いずれのみ真か？」ではなく、
「いずれもまた真」でもなく。

ひとつに結び合わされ、初めて見えてくる聖書の原風景！

聖書に生きる民によるキリスト教の歴史もまた、全体主義、排外主義の色合いを濃く帯びながら論争、分裂、騒擾そうじょうを繰り返してきた。「違いがありつつ、ひとつ」という第三の道があるのではないか——。現職の一牧師が岩手・花巻から発信する現代人のための希望に満ちた神学！

大貫 隆先生推奨！：論述が平穏かつ公平。先行研究からの引用は常に正確かつ肯定的で、自説の中へ統合する姿勢。無益に論争的なところがなく建設的。・文体は一般読者向けで分かりやすい。図は明快で読者の理解を大いに助ける。

[主な目次]

すいせんの言葉 小友 聡

第一部 違いがありつつ、ひとつ ～四福音書の相違と相互補完性

- 第 1 章 福音書に関する 5 つの疑問
- 第 2 章 四福音書の共通の土台、
四福音書の固有のキリスト像
- 第 3 章 マルコによる福音書のキリスト像
—— 生前 — 十字架のキリスト
- 第 4 章 マタイによる福音書のキリスト像
—— 十字架 — 復活のキリスト
- 第 5 章 ルカによる福音書のキリスト像
—— 復活 — 昇天のキリスト
- 第 6 章 共観福音書の小黙示録のキリスト像
—— 再臨のキリスト
- 第 7 章 ヨハネによる福音書のキリスト像
—— 再臨 = 想起・現前のキリスト

第 8 章 違いがありつつ、ひとつ —— 四福音書の相違と相互補完性

第二部 「十全のイエス・キリスト」へ —— 伝統的な聖餐論と開かれた聖餐論の相違と相互補完性

- 第 1 章 聖餐とは何か
- 第 2 章 現代の聖餐論議
—— 伝統的な聖餐論と開かれた聖餐論
- 第 3 章 「十全のイエス・キリスト」へ
- 第 4 章 今後の展望 —— 内住のキリスト像索引

あとがき

著者紹介 鈴木道也 (すずき・みちや)

1983 年 京都府京都市生まれ。
2007 年 北海道大学文学部卒業、2013 年 東京神学大学大学院修士課程修了。
2013 年より日本基督教団 花巻教会牧師(主任担任教師)。日本神学研究センター、東北伝道協力会 会員。